



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 スターゼン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8043 URL <http://www.starzen.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中津濱 健  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務経理本部長 (氏名) 中井 俊夫 (TEL) 03-3471-5521  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	61,787	△2.0	300	—	726	296.7	468	470.7
25年3月期第1四半期	63,080	△0.6	18	△96.0	183	△76.0	82	△79.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 533百万円( —%) 25年3月期第1四半期 △101百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.86	—
25年3月期第1四半期	1.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	100,173	28,306	28.2
25年3月期	94,848	28,333	29.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 28,277百万円 25年3月期 28,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	7.00	7.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	127,000	1.5	1,000	323.7	1,200	182.4	800	28.0	10.01
通期	260,000	2.3	2,400	31.1	2,700	25.1	1,100	27.8	13.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	87,759,216株	25年3月期	87,759,216株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	7,828,495株	25年3月期	7,822,872株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	79,932,176株	25年3月期1Q	74,637,797株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策により、円安株高が進み、一部高級品等では個人の消費マインドの改善もみられ、輸出も緩やかながら回復基調で推移しました。

食肉業界は、国産牛肉が和牛肉の出荷が減少したことから供給量全体が減少し市況は前年を上回り高値で推移しました。国産豚肉は、輸入豚肉の減少から相場は堅調に推移しましたが一部商品に荷余り感もあり相場下降も見られました。国産鶏肉は、出荷量・市況ともほぼ前年並みに推移しました。

輸入牛肉はこの4月からの米国産牛肉の月齢緩和措置から輸入量が大幅に増えましたが、6月からは緊急輸入制限措置の発動を回避する動きから輸入量が減少しました。輸入豚肉は、現地高、円安の影響から輸入量が減少し市況は上向きました。輸入鶏肉は、輸入量が前年並であったものの円安の影響から市況は堅調に推移しました。

このような状況の中、当社グループでは、営業体制の刷新と営業力強化に向けて営業本部を新設し、4販売子会社を統合し食肉および加工食品の拡売に努めましたが、食品では引き続き慎重な消費が続くなか、取扱量、売上高ともに微減となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は617億87百万円（前年同四半期比2.0%減）、営業利益は3億円（前年同四半期比1,566.7%増）、経常利益は7億26百万円（前年同四半期比296.7%増）となりました。四半期純利益につきましては4億68百万円（前年同四半期比470.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## &lt;食肉関連事業&gt;

食肉関連事業の売上高は611億28百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。また、品目別の業績は次のとおりであります。

## (食肉)

国産牛肉は平成22年に宮崎県で発生した口蹄疫や東日本大震災に由来する出荷頭数の減少から相場が上昇しましたが、消費者の低価格志向が根強く高級部位を中心に販売が伸び悩みました。その結果、取扱量は前年比微増となりましたが、売上高は前年を上回りました。

国産豚肉は輸入豚肉の円安による価格高騰の影響から加工原料の代替需要があったものの、取扱量、売上高ともに前年を下回りました。

国産鶏肉は前年並みの生産量、相場で推移した結果、取扱量、売上高ともに前年を上回りました。

輸入牛肉は4月、5月に米国産の輸入量が大幅に増えましたが、飼料価格の高止まりや円安の影響で輸入コストが高く、また、6月には緊急輸入制限措置の発動を回避する動きもあり、相場が堅調に推移した結果、取扱量、売上高ともに前年を下回りました。

輸入豚肉は円安の影響で輸入量が大幅に減少したことから取扱量、売上高ともに前年を下回りました。

輸入鶏肉は販売競争が激しくなったことから取扱量、売上高ともに減少しました。

これらの結果、食肉部門の売上高は496億2百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。

## (加工食品)

ローストビーフ、ハンバーグを中心に販売は引き続き好調に推移し、取扱量、売上高ともに前年を上回り、売上高は83億50百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。

(ハム・ソーセージ)

工場の集約化、生産品目の統廃合による経営効率化を図った結果、取扱量は微増となりましたが、売上高は前年を上回り、売上高25億84百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。

(その他)

その他の取扱品につきましては、売上高は5億91百万円（前年同四半期比24.5%減）となりました。

<その他の事業>

その他の事業は主に製麺事業等で、売上高は6億58百万円（前年同四半期比9.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、48億34百万円増加し、610億56百万円となりました。これは、主として商品及び製品や前渡金、現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、4億96百万円増加し、390億54百万円となりました。これは、主として建物及び構築物が増加したことによるものであります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、53億25百万円増加し、1,001億73百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、61億20百万円増加し、496億11百万円となりました。これは、主として短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、7億68百万円減少し、222億55百万円となりました。これは、主として長期借入金やリース債務、長期未払金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、53億52百万円増加し、718億67百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて27百万円減少し、283億6百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の見通しは、新興国経済の先行きに不安があるものの政府の経済政策が成果を上げつつあり、公共投資の拡大、円安を通じた輸出環境の改善により、景気の回復が期待されます。

食肉業界においては、飼料価格の高止まりや円安にともなう輸入価格の上昇、国産牛肉の供給不足から市況は堅調に推移することが予想されますが、食品に関する消費者の低価格志向はなお根強く、依然として厳しい環境が続くと推測されます。

このような状況の中、当社グループは、販売会社を統合し営業力を強化、効率的販売を推進し、生産供給基地の拡充、海外仕入拠点の開拓や海外での事業展開等の投資を行うことで事業の拡大と継続を目指してまいります。

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月13日公表のとおり、連結売上高2,600億円、連結営業利益24億円、連結経常利益27億円、連結当期純利益11億円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,865	9,084
受取手形及び売掛金	29,832	29,123
商品及び製品	11,584	13,721
仕掛品	383	416
原材料及び貯蔵品	1,213	1,286
その他	5,568	7,618
貸倒引当金	△224	△192
流動資産合計	56,222	61,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,629	12,180
土地	9,480	9,441
その他(純額)	5,965	5,916
有形固定資産合計	27,075	27,539
無形固定資産		
のれん	1,201	1,168
その他	541	546
無形固定資産合計	1,743	1,715
投資その他の資産	9,739	9,799
固定資産合計	38,557	39,054
繰延資産	68	62
資産合計	94,848	100,173

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,303	14,902
短期借入金	14,530	20,822
未払法人税等	552	292
賞与引当金	1,167	531
その他	11,937	13,062
流動負債合計	43,490	49,611
固定負債		
社債	4,100	4,100
長期借入金	14,723	14,172
退職給付引当金	1,715	1,710
その他	2,484	2,272
固定負債合計	23,024	22,255
負債合計	66,514	71,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,899	9,899
資本剰余金	10,915	10,915
利益剰余金	8,221	8,130
自己株式	△1,348	△1,350
株主資本合計	27,687	27,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	531	595
繰延ヘッジ損益	272	241
為替換算調整勘定	△188	△154
その他の包括利益累計額合計	615	681
少数株主持分	30	28
純資産合計	28,333	28,306
負債純資産合計	94,848	100,173



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	63,080	61,787
売上原価	57,695	56,494
売上総利益	5,384	5,293
販売費及び一般管理費	5,365	4,992
営業利益	18	300
営業外収益		
受取利息	14	12
受取配当金	35	41
不動産賃貸料	135	122
受取保険金及び配当金	180	201
持分法による投資利益	—	94
その他	97	146
営業外収益合計	464	618
営業外費用		
支払利息	119	107
不動産賃貸費用	55	50
持分法による投資損失	61	—
その他	64	34
営業外費用合計	299	192
経常利益	183	726
特別利益		
補助金収入	97	—
特別利益合計	97	—
特別損失		
固定資産除却損	14	12
投資有価証券評価損	—	3
減損損失	—	38
特別損失合計	14	54
税金等調整前四半期純利益	266	671
法人税、住民税及び事業税	304	291
法人税等調整額	△101	△87
法人税等合計	202	204
少数株主損益調整前四半期純利益	63	466
少数株主損失(△)	△19	△1
四半期純利益	82	468

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	63	466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	61
繰延ヘッジ損益	△77	△31
為替換算調整勘定	19	34
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	△164	66
四半期包括利益	△101	533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81	534
少数株主に係る四半期包括利益	△19	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社は、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。